

令和 6 年度事業報告書

社会福祉法人稲泉会

特別養護老人ホームふくしの里慶泉荘

I. 総括

令和6年度も入居者一人ひとりを大切に入居者主体のケアを実践できるよう取り組んで参りました。

重点項目は4点掲げて取り組んで参りました。1点目の人権の尊重では、24時間シートの活用により生活リズムの把握や必要なケアの提供の実践に取り組みました。また、出来るだけ生活感が感じられるよう生活環境の整備に取り組みました。2点目の笑顔に勝る介護なしの実践では、入居者を支えるうえでの最も大切な姿勢であると捉え職員会議等での周知と意識の助長に取り組み、職員個々が成長できるよう引き続きWEB研修の受講の機会や介護書籍の貸与を行いました。3点目の感染対策・防災対策では、BCPの研修会・訓練を開催しましたが、12月から1月にかけて発症したインフルエンザが拡大し入居者の生活に支障が生じてしまいました。4点目の稼働率では、94.8%と目標に達することが出来ませんでした。また、経費の削減では施設の老朽化に伴う修繕費用と職員採用手数料の増などにより昨年度を上回る結果となりました。

II. 重点項目

1. 「人権の尊重」
 - ・一人ひとりのケアを根柢をもって進め「入居者主体」に取り組む
 - ・生活環境の向上と生活範囲の拡充
2. 「笑顔に勝る介護なし」
 - ・笑顔は人を幸せにする表現であることを認識し、利他的志向を育む風土を作る
 - ・自己のスキルや知識の向上に努める
3. 感染対策・防災対策の徹底
 - ・感染予防の推進、医療との連携
 - ・防災対策の推進、訓練の実施
4. 目標稼働数 入居率98% 経費削減 2%

Ⅲ. 重点目標による成果

職 種 総務課（庶務・経理）

重点目標

1. 適正な経理事務の執行を行い、財務諸表を開示し、会計の透明性を確保します。
2. 利用者預り金等の適正な管理をします。
3. 新規介護ソフトの適切な活用、運営方法を構築します。
4. 補助金・助成金受給のための情報収集を行います。
5. 経費削減 2%に向けた取り組みを行います。

重点実施項目

	実施項目	実施項目の成果
1	適正な経理事務の執行	<ol style="list-style-type: none"> 1. 予算編成 2. 決算手続 3. 財務諸表、計算関係書類の開示 <p>・成果 適正な経理事務の執行を行い、所轄庁へ提出、財務諸表等電子開示システムへ公表している。</p>
2	入所者預かり金品の適正な管理	<ol style="list-style-type: none"> 1. 通帳、印鑑等入所者預かり金品の管理保管を徹底する。 2. 入所者の金銭出し入れを確実に行う。 3. 御家族へ年 4 回、収支状況を書面にて報告する。 <p>・成果 預り金台帳の利用者個人表を作成、家族へ報告。出納状況を確認して頂き、承認を得ている。出納事務も担当者、生活相談員、事務員を経由し、適正なチェックを行い、管理体制を徹底することが出来ている。</p>
3	新規介護ソフト導入に向けた活用方法を構築	<p>総務課への介護ソフト導入により、介護報酬請求や利用料・利用者預り金管理などの作業を効率よく行えるよう活用していく。適切な活用、運営のため、各部署との連携を図る。</p> <p>・成果 各部署の介護給付費明細書の内容が早い段階で確認でき、記載不備などの返戻、再請求の頻度を減らすことができた。</p>
4	補助金・助成金受給のため情報収集	<p>業務効率改善ツールの導入、人材雇用、職員キャリアアップにつながる助成金を情報収集し、計画を作成、円滑に受給する取り組みを進める。</p> <p>・成果 岩手県職場環境復旧支援、平泉町エネルギー価格高騰影響緩和支援、結核健康診断費補助金など、滞りなく受給することができた。</p>
5	経費削減 2%に向けた取り組み	<p>無駄を見直し、業務効率化につなげ、削減した経費をより良い取り組みに使うべく経費削減に取り組む。</p> <p>・購入品、水道光熱費など具体的数値を見える化する。</p> <p>・各部署重点項目の経費削減と連携するため、総務から部署ごとに担当を決め取り組む。</p> <p>・成果 物価高騰が続く中、拠点区分の事業費支出で前年比 1.6%減に繋げることができた。</p>

重点目標

1. 入所待機者のご家族への聞き取りと意向調査の実施
2. 入居者の思いを受けご家族にも協力を得られる信頼関係の構築
3. 入居稼働率 98%を目指す

重点実施項目

	実施項目	実施項目の成果
1	入所待機者の現状把握とご家族の意向調査	1) 年度始めにご家族に聞き取りを行い、年3回の入所検討委員会での順位結果を郵送する。 2) 待機者の身体状況やご家族の環境の変化時には連絡をいただきたい旨を伝える。 ・成果 1) ご家族に聞き取り調査を行い、情報収集を行いながら入所検討会議を開催している。(開催実績7月1回)年3回の開催については実施できなかった。 2) 待機者の情報については、随時連絡をいただいている。
2	家族との信頼関係の構築	1) 入居前の説明と契約を適正に行い、ご家族が安心し納得できる対応に努める 2) 面会時には近況報告に努める 3) 苦情には速やかに対応し、改善案のもとサービス提供に努める ・成果 1) 入居前には、ご家族に説明を行い適正な契約が行えるよう努めている。 2) 面会時には、職員より近況報告を行い、施設での生活の様子などをお伝えしている。 3) 苦情があった際には速やかに対応している。
3	入院時、退所後の空床期間を増やさない	1) ご家族、病院、施設等との連携を密にし、スムーズに入居できる体制を整える。 2) ショートの空床利用を活用できるよう各居宅支援事業所及びご家族との連携に努める。 ・成果 ご家族、病院、施設等などの関係機関と連携を密にし、空床が少なくなるように努めていたが、ご利用者様の体調不良などが重なり稼働率98%は達成できなかった。
4	短期入所生活介護入居者への援助	1) 各居宅支援事業所及びご家族との連携に努め、ご家族のニーズを把握し、スムーズに利用できるよう努める。 2) 事故・急変時には、ご家族・担当の介護支援事業所へ速やかに連絡を取り適切な対応を行う。 3) 苦情相談への適切な対応を行い、より一層のサービス提供に努める。 ・成果 1) 各居宅支援事業所やご家族との連携に努め、スムーズな利用が出来るように進めることができた。 2) 事故・急変時には、スピード感を持って連絡をし、連携をとることができた。 3) 苦情相談等への対応についてはスムーズに行えた。

職 種 介 護 課 (介護支援専門員・介護)

重点目標

1. 個別ケアの実践
2. 居室・ホール環境整備
3. サービスの質の向上と人材育成
4. ケアマネジメントの構築

重点実施項目

	実施項目	実施項目の成果
1	個別ケアの実践	<p>①24 時間シートの定期的な見直し(3 ヶ月に 1 度)を行い、変更があった場合は都度追記する。</p> <p>②24 時間シートを活用することで、職員が提供するケアのばらつきを軽減する。</p> <p>・成果</p> <p>①24 時間シートを活用し、一人ひとりにあったケアの提供。3 ヶ月に 1 度の 24 時間シートの定期的な見直しが出来ていなかった。</p> <p>②介護ソフト内の 24 時間プランを活用し、入居者様へのケアのばらつきを軽減した。</p>
2	居室・ホール環境整備	<p>5 S 活動の実践を行い、入居者のプライベート空間・職場の環境整備を行い居心地の良い空間を構築する。</p> <p>・成果</p> <p>入居様に居心地の良い生活空間を提供するため、廊下壁側の壁紙、照明器具の取付けなど、環境整備に努めた。</p>
3	サービスの質の向上と人材育成	<p>① 法人理念である「笑顔に勝る介護なし」の実現のため、OJT・OFF-JT・自己研修を活用し職員のスキルアップに努める。</p> <p>② 職員会議内でグループワークを実施し、互いに意見を出し合いながら、考えを共有する場を設けサービスの質の向上を図る。</p> <p>③ 新人育成のためエルダー制度の導入をし、入居者・組織にとって、なくてはならない人材の育成をしていく。</p> <p>・成果</p> <p>①定期的に Web 研修にて、動画視聴し、職員のスキルアップに努めた。</p> <p>②事故予防対策委員会主導で、KYT (危険予知トレーニング) を実施し、ホール、居室の危険予測に関して参加者同士で意見交換を行った。</p> <p>③新職員に対して、Web 動画にて新人研修の実施。エルダー制度を導入し、職場に溶け込みやすい雰囲気づくりに努めた。</p>
4	ケアマネジメントの構築	<p>生活の継続性・自己決定の尊重・残存機能の維持向上を目指したケアプランの作成をしていく。</p> <p>・成果</p> <p>入居者様別に定期的なカンファレンスを実施している。</p>

職 種 管理栄養課

重点目標

- 1 個人に合わせた、安全でおいしく楽しい食事の提供
- 2 入居者の栄養状態、健康状態の維持、増進
- 3 衛生管理と感染予防の徹底
- 4 委託業者との連携・調理業務の管理

重点実施項目

	実施項目	実施項目の成果
1	個人に合わせた、安全でおいしく楽しい食事の提供	<ul style="list-style-type: none">・定期的なミールラウンド、嗜好調査を実施し、入居者一人ひとりに合わせた食事形態・内容での食事を提供する。・入居者の希望を取り入れた食事の提供を行う。・季節ごとの行事食、イベント食の企画を行う。 (成果) <ul style="list-style-type: none">・ミールラウンド、嗜好調査を定期的実施した事により、早期に個人の求める食事の提供、献立への反映に繋がられた。・主食を麺類で提供したり、ラーメンとチャーハンのセット物など、献立にバリエーションを増やす事ができた。・デイサービスでの手作りおやつを提供を行い、利用者の方に美味しく食べていただく事ができた。一方で、「その場で手作りおやつを…」との希望であったが、初めての試みで要領が掴めず、目の前で作ることができなかった。
2	入居者の栄養状態、健康状態の維持、増進	<ul style="list-style-type: none">・低栄養の予防、改善、栄養状態の維持、向上を目指した栄養ケアプランの作成、ケアプランに沿った支援を実施する。・多職種と連携し、食事の面から病気の悪化予防、改善、栄養状態の維持、増進ができるよう取り組む。・摂取基準に近づけた、または満たす給食の提供を行う。 (成果) <ul style="list-style-type: none">・栄養状態を定期的に観察し、変化に応じて食事内容を変更したり、食事だけでは栄養が補えない場合は、摂りやすさや嗜好に配慮した補食を提供するなどして、栄養状態が維持、増進できるように努めた。・栄養ケアプランの内容を多職種で共有し支援できるよう、共有方法を工夫している。・摂取基準に近づけた食事の提供については、委託側と協力し、基準よりも低かった栄養素が少しずつ基準値に近づくようになっている。

3	衛生管理と感染予防の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な食事提供を行うため、大量調理マニュアルに基づき管理、点検を行う。 ・厨房内の衛生管理を徹底し、点検記録簿の確認を実施する。 ・感染予防のための正しい手洗いの啓発、食中毒など感染症に関する情報の早期収集と伝達を行う。 <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大量調理マニュアルに沿って管理や点検を実施した。今年度は暖かい気候が長かった為かコバエなどが入り込むことが例年より多く、コバエ対策を追加し、異物混入予防に努めている。
4	委託業者との連携・調理業務の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会の開催により、委託業者・各職種との情報共有を図る。 ・委託業者との連携により、入居者それぞれの食事に誤りが無いよう協力して業務を行う。 ・災害発生時にも滞りなく食事提供が継続できるよう、協力体制を整える。 <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食委員会を毎月開催し、主食に麺類の提供を再開したり、行事食の提供など、利用者の方が満足できる食事の提供に努めた。 ・配膳間違えの無いように、食札の色分けを行ったり、顔写真を付けるなどして、食事に誤りの無いように連携を図った。

職 種 看護課

重点目標

<ol style="list-style-type: none"> 1. 入居者の健康管理に努める 2. 嘱託医・協力医療機関との連携 3. 感染症予防、まん延防止に努める 4. 残存機能の維持に努める 5. 職員の健康管理に努める
--

重点実施項目

	実施項目	実施項目の成果
1	入居者の健康管理に努める	<ul style="list-style-type: none"> ・一般状態の観察及び平常時の把握に努め、異常時の早期発見、対応にあたる。 ・オンコール体制のもと、急変時の対応を行う。 ・状態変化時は、嘱託医、ご家族、各部署への情報提供を行う。

		<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員との連携により、異常時の早期発見・対応が可能となっている。早期の病院受診や家族への状態報告も実施できている。 ・オンコール体制は年度途中から外部機関へ委託し、対応出来ている。
2	嘱託医・協力医療機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・嘱託医、協力医療機関との連携を密に行い家族への説明等は誠意をもって対応する。 <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に、回診時に嘱託医へ状態報告・相談を実施している。その時の指示に従い処置・服薬介助・経過観察等を行っている。入居者の状態によっては、他科受診や看取り対応の実施、家族様へも体調悪化時や看取り対応への移行時に分かり易い説明を心掛けた。
3	感染症予防、まん延防止に努める	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の時期や流行情報の収集に努め、各部署との連携を図り必要な策を講じる。 <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザウィルス感染症の集団感染時、感染対策に基づき対応したが、職員の感染者も多く発生してしまった。出勤可能な職員が少ないときは他部署からの応援職員に協力していただき入居者へのケアを維持できた。
4	残存機能の維持に努める	<ul style="list-style-type: none"> ・残存機能の維持向上を図り、生活機能の維持向上を図る。 <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活リハビリを行うことによって、生活機能の維持に努めている。
5	職員の健康管理に努める	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の健康診断及び予防接種の実施や腰痛予防への取り組みを行う。 <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年通り、予防医学協会へ依頼し職員・入居者の健康診断を実施できた。予防接種は、インフルエンザワクチンを実施している。